

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 年2回の避難訓練を実施し、夜間想定も行うようになっている。地域の方の協力は呼びかけを行ったが、実際の参加はまだない状況である。また、火災以外の訓練は行っていない。	年2回の避難訓練の際は、地域の方の協力も得て、実践的な訓練を行い、職員の意識を高めていきたい。また、災害対策マニュアルを定期的に見直し、備蓄品の確認などを他に、炊き出しなどを行い、いざという時に動けるようにし、町内での高齢者の一人暮らしの方の受入れも協力していきたい。	引き続き、運営推進会議にて、避難訓練について話しをし、また、近隣の方にも呼びかけ協力をお願いしていく。また、火災の避難訓練の他に地震災害等の訓練も行っていく。	12ヶ月
2	26	チームでつくる介護計画とモニタリング 計画作成担当者を中心に、ユニット全員でケアプランの内容が実施されているか、ご本人様や家族の意向が叶えられているか、確認していく必要がある。また、ご家族様からの同意書は郵送になっているため、きちんと理解されているか確認できていない。	3ヶ月ごとの見直しの際には、必ずご本人様から意見や要望を聞き、プランに反映させ、実行できるよう対応する。また、ご家族様には直接ケアプランを説明できるようにしていきたい。	ケアプランの様式を検討していく。また、ご家族様に、再度ケアプランの重要性を確認していただき、同意書をいただく際は、職員が直接説明し、その場でいただけるようにしていく。その為には、職員全員がケアプランを説明できるようにしていく必要がある。	12ヶ月
3	8	職員を育てる取り組み 研修への参加の意識が高くなっている。現在、入居者様の重度化が進み、認知症の方への関わり方の他に、身体介護や急変への対応が必要になってきている。	認知症の方への関わり方を再確認しながら学んでいき、毎日のケアに活かし入居者様の安心につなげていきたい。また、日頃から疑問や不安を少しでも取り除けるようにし、職員のスキルアップを目指していきたい。	引き続き、研修への積極的な参加を声掛けし、内容を話題にし、考える機会を作っていく。事業所内の研修はより具体的な内容にし継続していく。また、介護情報雑誌を毎月取り入れ、介護を取り巻く状況の把握や、他事業所での取り組みを見て視野を広げていけるようにしていく。	12ヶ月
4	2	事業所と地域とのつきあい 子供達との交流があまりできていない。中学生の職場体験はあるが、入居者様が一番喜ぶ幼稚園や、小学生、高校生との交流は行われていない。また、近隣の方に、グループホームで暮らす認知症の方をもっと知っていただく必要がある。	幼稚園児や小学生との交流が持て、入居者様のとろけるような顔が見たい。定期的に行ったり来たりできるような関係を作りたい。 また、地域の方が気軽に足を運んでいただけるようにし、入居者様の日常の様子や様々な顔を知っていただけようにしたい。	小学校で取り組んでいる、ペットボトルの蓋集めに協力し、入居者様と一緒に小学校に出向いていく。また、幼稚園などに、入居者様が作ったぞうきん等を持参できるようにしていきたい。子供達が参加できるボランティアなども積極的に計画していきたい。	12ヶ月
5	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映 玄関先に「ご意見箱」を設置したが、活用されることがなかった。面会時に話しをし、コミュニケーションをとりながら、ご家族様の率直な意見を聞きたいと思っているが、面と向かうと話づらいこともあると思っている。	遠慮なく意見を頂けるような工夫を行い、日々のケアに活かしていきたい。	定期的にご家族様にアンケートを実施する。内容はあまり多くなく、気軽に書けるような書式に工夫する。面会時なども、ご家族様とコミュニケーションをとり、意見を言いやすい雰囲気を作るよう努める。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。